

長瀬町 議会だより

No.7
平成30年
9月定例会
11月1日発行



平成29年度一般会計・
特別会計 決算認定

P.2

条例の改正

P.4

平成30年度補正予算
概要・主な質疑

P.4

議案と議員の賛否

P.5

町政を問う 一般質問

P.6

編集後記

P.8

長瀬町ってこんなところ

長瀬町には、鎌倉・南北朝時代に建てられた日本一の高さ5.37メートルを誇る国指定：史跡野上下郷石塔婆があります。その石塔婆からは、領民生活も豊かで信仰も盛んに行われ、善政がしかれていたことがうかがえます。



今号の表紙

長瀬町には名所が点在しています。
今回はそのうちの1つをご紹介します。

国指定 名勝及び天然記念物「長瀬」岩畳

岩畳は、幅（東西）80メートル・長さ（南北）500メートルあり、パイを重ねたような構造のはがれやすい結晶片岩です。大昔海底に積もった砂・泥・火山灰などが地下深く押し込められて、高い圧力と温度のもとで変化したものです。長い年月をかけて地下20～30キロメートルの深部から上昇し、ついに地表に露出しました。

地表にあらわれた片岩は、荒川の水の力によって削られ、今のよう
な美しい渓谷と岩畳がつけられました。

平成29年度 一般会計・特別会計決算認定

平成29年度一般会計歳入歳出決算は、歳入決算額34億4,184万4,767円、歳出決算額33億3,806万9,018円、歳入歳出差し引き残額1億377万5,749円になりました。

決算認定に当たっては、長瀬地区公園や多世代ふれ愛ベース長瀬などの工事内容の詳細や福祉・教育・観光振興のほか、平成29年度全般にわたる質疑が行われ、審議した結果、賛成多数で認定されました。

平成29年度 一般会計・特別会計決算

会計名	歳入	歳出	差引残額
一般会計	34億4,184万4,767円	33億3,806万9,018円	1億 377万 5,749円
国民健康保険特別会計	11億 835万 2,383円	9億6,281万 3,599円	1億4,553万 8,784円
介護保険特別会計	7億6,271万 8,123円	7億1,662万 7,860円	4,609万 263円
後期高齢者医療特別会計	9,501万 4,554円	9,307万 9,888円	193万 4,666円

主な質疑

Q施設介護が必要な人が、町内や秩父市内等を探しても見つからない話を聞くが、待機者は何人か。

A現在、特別養護老人ホームの入所希望者に対する調査を行っています。その結果、平成30年4月1日現在、18人の入所希望者がいます。また、前年29年も18人でしたので、希望者は増えてはいないという結果になっています。

Q在宅のひとり暮らし老人及び重度障害者が日常生活の緊急事態に対する不安を解消するための緊急通報システムは、必要とされる人に対する周知をどのように実施しているのか。

A緊急通報システムの利用は、民生委員から必要とする世帯の連絡を受け設置していたため、今までは緊急通報システム利用に関する周知を余り実施していませんでした。これからは、広く皆さんにわかりやすいようにお知らせしたいと思います。

Q多世代ふれ愛ベース長瀬は1億2,000万円で建設できると聞いたが、費用がふえた原因等を説明してほしい。

A多世代ふれ愛ベース長瀬の工事費等々の総額が増加した要因は、備品購入経費や建築・電気工事に関する発注者支援業務を委託したこと及び道路後退部分の舗装工事を実施したことによるものです。

Q中央公民館や保健センター等の敷地で町が借りている土地があるが、買うことはできないか。また、長期に借りている土地について契約の変更はできないか。

A毎年借上料がかかることに対して町も憂慮しており、土地購入の検討や不要となる土地については返したいと考えています。しかし、契約当時の縛りや建物の解体等の経費の問題があり、困惑している状態です。現在実施している事業は、土地を購入後に事業を実施しています。

Q長瀬町に対するふるさと納税は、1,895万4,000円の寄附があり、

ふるさと応援長瀬基金に積み立てた額が801万8,000円となっている。内訳を教えてください。

A平成29年度のふるさと長瀬応援寄附金は1,895万4,000円です。このうち返礼品の費用や手数料に859万1,891円かかりましたので、1,036万2,109円が基金積立金になります。なお、基金積立金の差額は平成30年度9月補正で積み立てます。

Q町民が他市町村に寄附をして、住民税が控除され税収が少なくなった金額はどのくらいか。

A平成29年度、長瀬の町民が町外にふるさと納税した金額は、441万24円（70人）の寄附がされましたので、控除額は185万2,098円になりました。

Q有害鳥獣の出没による被害が増加している。見回りや捕獲、捕獲後の処分についてどのような状況なのか。

A有害駆除捕獲事業で猟友会に委託しています。有害駆除捕獲の29年度の実績は、鹿15頭、イノシシ

平成29年度の主な事業は、多世代ふれ愛ベース長瀬建設工事と幹線8号線他1路線改良工事、長瀬地区公園整備事業などとなっています。長瀬地区公園整備事業は、平成30年度も工事を進めており、年度末に防災機能を備えた公園として完成する予定です。

事業名称	金額
多世代ふれ愛ベース長瀬建設工事	1億2,906万円
幹線8号線他1路線改良工事	5,385万960円
長瀬地区公園整備工事	4,638万8,160円
幹線1号線改良工事	2,077万8,120円
橋梁長寿命化修繕計画策定業務委託料	1,074万2,760円
塚越団地外壁等改修工事	924万3,720円
小・中学校コンピューター等リース料	626万9,364円



多世代ふれ愛ベース長瀬（外観）



多世代ふれ愛ベース長瀬での事業の様子

16頭、アライグマ4頭、ハクビシン1頭、アナグマ1頭を捕獲しました。捕獲後の処分は、捕まえた従事者たちが一部を肉等で利用するほか、大半は広域に減免申請し、焼却処分をしています。

㊦ 共済費のうち、社会保険料は28年度に3万6,754円であったが、29年度は139万563円に増加しているのはなぜか。

㊦ 公的年金制度の持続可能性の向上を図るための国民年金法等の一部が改正されたことに伴い、週20時間以上働く短時間労働者に対する社会保険の適用対象が昨年の4月から拡大しました。当町職員の再任用短時間勤務職員等で要件に該当する者は、共済組合の任意継続で共済組合に加入できなくなり、健康保険を適用することになりました。そこで、支払方法を共済費から社会保険料に変更したため、再任用職員分の社会保険料が増加したことが要因になります。

反対討論

▼**関口雅敬**…町税の減少・ふれ愛ベースの建設で町債が増加、財政の硬直化が改善されていないと行政報告にある。町の事業は計画どおりの実施が難しく、住民は落胆している。地域や住民のサービスが低下している現状であるので認定はできない。

▼**村田徹也**…公園整備など今後のランニングコストが見込まれ、財政力指数・将来負担比率・実質公債費比率等の改善が見越せない。

また、歳入増加・歳出削減の成果が見えず不用額も多いので、財政健全化に努めた予算執行とは思われない。

▼**田村 勉**…全体としては努力しているように見受けられるが、個人情報漏えいする可能性のある危険なマイナンバー制度、また広域上水道の長瀬町としての負担金が、広域化する前より毎年増え続けている状況などを含んでいるので反対する。

賛成討論

▼**岩田 務**…監査委員の審査意見書を見ると、主要財政指数の財政力指数、経常収支比率、経常一般財源比率等も微増・微減である。不用額については、28年度4.1%が2.86%へと減少している。町税の収入率の低下など改善点はあるが、決算を否決するほどの理由はない。

▼**新井利朗**…この内容は、子供の出生・保育、教育、医療、保健衛生、産業振興、総務、全般に大事に使われ、町民が安心して暮らせた1年であったと思われる。

重度心身障害者医療費支給に関する条例

重度心身障害者医療費支給対象者など低所得者を限定し、負担の公平を図る必要があることから、県補助金交付要綱にあわせて条例の一部改正をしました。

主な質疑

Q 重度心身障害者にかかわる支給額を頭打ちにするのか。

A 5人家族では、給与収入換算額で約744万9,000円が限度額になり、これ以上所得のある方に

関しては適用対象外となります。

Q 所得制限は。

A 所得額の算定に関しては特別児童扶養手当等の支給に関する法律施行令が定められています。

反対討論

▼**村田徹也**…障害者医療費支給では、薬の容器等は対象外なので家族の経済的精神的負担が大きくなり、ますます福祉の後退につながる。

▼**田村 勉**…重度心身障害者を抱える家庭に負担が増える所得制限を導入するもので、福祉の後退につながるので反対。

指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例

指定居宅サービスの人員、設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令施行に伴い、条例の一部改正をしました。

主な質疑

Q 「オペレーター」はどのような業務なのか。

A 厚生労働省の定める介護の基準によりますと、利用者などから電話やパソコン等による連絡により、対応や訪問などの随

時対応を行う者をオペレーターと位置づけています。

Q 「身体的拘束等の適正化」というのは、具体的にどういうことなのか。

A 厚生労働省令に準じ、身体的拘束等の扱いの不明瞭部分を明確にし、わかりやすくしたものです。

反対討論

▼**田村 勉**…全体的に見るとやはり福祉の後退が明確に出ていると思います。そういう意味で反対します。

平成30年度 一般会計補正予算

歳入歳出予算総額に1億6,945万8,000円を追加し、総額34億4,523万1,000円とするものです。主な事業は、里山平地林再生事業や埼玉県産地パワーアップ事業と公共施設整備基金への積み立てなどです。

主な質疑

Q 埼玉県産地パワーアップ事業費補助金500万円とは。

A 意欲のある農業者等が高収益な

作物、栽培体系への転換を図るため、生産施設の機能向上や生産物の品質向上を支援する事業であり、長瀬ブドウ組合のブドウ農家3軒の事業者に補助する予定です。

Q 会計年度任用職員制度導入支援事業業務委託料108万円とは。

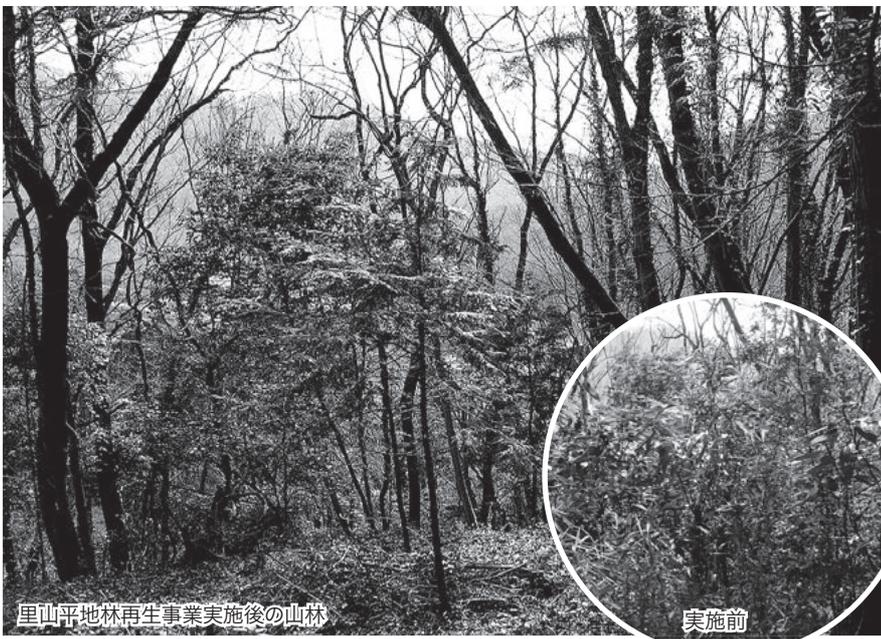
A 特別職の非常勤職員及び臨時的任用職員の任用要件が厳格化されるとともに、一般職の会計年度任用職員が創設され、平成32年4月から施行されるため、会計年度任用職員制度の導入のための例規整備の支援業務を委託するものです。

Q 土木費のまちづくり推進費の対象道路は。

A 今現在、道路後退が発生すると見込まれるものが4件で、路線の把握はしていません。

反対討論

▼**田村 勉**…この補正予算は、マイナンバー制度は個人情報を一元的に集約し、国の管理下に置こうとするもので、利便性はあるが膨大な個人情報が広範囲に漏洩する危険がある案を含むので反対。



職員の分限に関する 手続及び効果に関する 条例

職員が過失による罪で禁固刑に処せられ、刑の執行が猶予された場合に失職の特例を規定するための改正です。

主な質疑

Q対象となる過失は重過失、軽過失、具体的過失とあるが、執行猶予を言い渡された場合のみか。

Aあくまでも過失であって、本人に瑕疵がなく執行猶予になるケースのみが該当します。

災害派遣手当等の支給に関する条例

旅館業法の一部を改正する法律の施行など国の法律の改正に伴い、引用条項や字句を整理するための改正です。

主な質疑

Q災害復興にかかわる職員の募集や、職員を派遣したことがあるか。

A町職員に災害派遣に関する募集を行ったことはありません。今後は、職員に派遣に出向く意思があるかをふまえて応募を募りたいと考えています。

請 願

長瀬町における受動喫煙防止対策に関する請願

埼玉県生活衛生同業組合連合会等から受動喫煙対策に関する請願が、岩田務議員の紹介により提出され、審議した結果、経済観光常任委員会へ付託しました。

意見書

ゴルフ場利用税の堅持を求める意見書

ゴルフ場利用税がゴルフ場所在市町村にとって重要な財源であることから、ゴルフ場利用税の堅持を求める意見書が井上悟史議員から提出され、慎重に審議した結果、採択となりました。

人 事

固定資産評価員の選任

新任 福島基之氏(上袋区在住) 同意

教育委員会委員の任命

再任 西山忠文氏(大木小路区在住) 同意

人権擁護委員候補者の推薦

新任 山崎智子氏(下山区在住) 同意

審議した議案と議員の賛否		審議結果	井上悟史	田村勉	野原隆男	岩田務	村田徹也	野口健二	関口雅敬	大島瑠美子	新井利朗	染野光谷
平成29年度決算	一般会計歳入歳出決算認定	認定	○	×	○	○	×	欠	×	○	○	—
	国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	—
	介護保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	—
	後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	—
平成30年度補正予算	一般会計補正予算(第2号)	可決	○	×	○	○	○	欠	○	○	○	—
	国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	—
	介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	—
	後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	—
条例の改正	職員の分限に関する手続及び効果に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	災害派遣手当等の支給に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	こども医療費支給に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	家庭的保育事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	重度心身障害者医療費の支給に関する条例	可決	○	×	○	○	×	○	○	○	○	—
人 事	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—
	固定資産評価員の選任	同意	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	—
	教育委員会委員の任命	同意	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	—
請 願	人権擁護委員候補者の推薦	同意	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	—
	長瀬町における受動喫煙防止対策	委員会付託	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	—
議員提出	意見書	採択	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	—

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 ※議長は採決には加わらず、賛否同数の場合のみ議長裁決として表明します。



関口 雅敬 (せきぐち まさたか) 議員

ユニバーサルツーリズムについて

〔町長〕

財政的には厳しいが、必要に応じ連携をする

Qユニバーサルツーリズムとは、高齢者や障がいの有無にかかわらず、誰もが気兼ねなく参加できる旅行のことです。町は、ユニバーサルツーリズムの普及・促進を図るためにどんな施策を検討しているのか伺う。

A平成28年に観光庁が実施したユニバーサルツーリズムの促進に向けたモデル事業実施地域の募集に、長瀬町観光協会が応募しましたが、ユニバーサルツーリズムの指定を受けたわけではありません。

平成29年度は、観光庁が実施した接遇マニュアル

作成に係る旅行業文化会・観光地域分科会の構成員として観光協会の事務局長が参加し、高齢の方・障がいのある方などをお迎えするための接遇マニュアルの作成に関わっています。

現在、観光協会から町への動きはありませんが、町として対応する必要が生じたときには、財政的に難しい状況ですが、連携しながら進めていきたいと考えています。

〔その他の質問〕 災害時の対応/教育費について



野口 健二 (のぐち けんじ) 議員

小型除雪機の設置効果について

〔総務課長〕

除雪がスムーズにできたと好評

Q昨年、宝くじの助成金を受けて希望する行政区に小型除雪機を設置した。ある議員の質問に、「昨年の積雪時、この除雪機を利用して除雪し大変喜ばれた」と答弁されたが、実際の効果はどの程度あったか伺う。

私の区でも除雪が大変スムーズにできた喜んでいますが、行政区の範囲が広いので長時間の除雪が必要であり、もう1台あるとありがたいとの声を聞いている。除雪範囲にもよると思うが、行政区の希望があれば小型除雪機を追加する考えがあるか伺う。

Aまず、除雪機の設置効果がどの程度あったかどうかですが、設置した行政区の区長からは除雪が大変スムーズにできたと好評をいただいています。

次に、追加設置する考えについてですが、要望等を勘案し、追加設置を検討します。



田村 勉 (たむら つとむ) 議員

河川の氾濫対策は

〔総務課長〕

関係機関と相談し対処

Q広報は、行政サービスを広く住民に伝えるツールとして全世帯に配布することが求められているが、届いていない世帯があれば配布する必要があると思うが、配布方法や要件などについて伺う。

A各区の区長を通じ配布をお願いしていますが、配布できるよう現状を調査します。

Q西日本豪雨災害など、最近、大規模な災害が発生している。当町でも寛保2年(1742年)の大洪水があり、第2小の裏に水位を示す標がある。上流に4つの

ダムがあるが、万一の大洪水に対する町の対応を伺う。

Aダムは洪水調節機能を持っており、百年に一度の洪水にも耐えられると聞いています。しかし、万が一の対応も考え、河川の氾濫時のハザードマップも必要か各機関と相談し検討したいと思います。



村田 徹也 (むらた てつや) 議員
**財政健全化や人口減に
 対応する有効施策は**

〔町長〕
**財源を有効に使い
 健全な財政運営を行う**

Q町の地方債の残高と下水道組合、秩父広域の地方債の町負担見込額と将来展望は。

A町債30億2,795万円、下水道組合19億8,603万円、秩父広域3億4,960万円で、起債額が年度の元金償還額を超えないよう健全な財政運営を行っていきます。

Q財政状況を把握し、将来的に税収の変動を見越した計画はあるのか。

A町財政状況は厳しい状況で、臨時財政特例債を活用する必要があります。計画は策定していません。

Q歳出削減策についての具体的な案があるのか。

A予算編成での補助金の見直しや職員の適正な配置など、最小の経費で最大の効果に努めます。

Q「関係人口」の施策展開やお試し移住定住用住宅借上げ事業の進捗状況は。

A移住希望者に町の魅力を感じてもらえるよう移住体験セミナーを開催し、関係人口から定住人口につながるよう努めています。お試し移住定住用住宅借上げ事業は見送りにします。

〔その他の質問〕 学校部活動指導／縦割り行政見直しについて



岩田 務 (いわた つとむ) 議員
**学校の授業における
 ICT機器の活用について**

〔町長〕
**子供たちの教育がより
 充実するように努めます**

Q当町のICTの活用実績と教育効果は。

A各教科でデジタル教科書を導入しており、中学校ではタブレット端末を活用し、発表する授業も展開され、授業参観や学校公開では、保護者からも好評でした。

Q今後のICT計画等は。

A平成29年度に、文教大学教授 今田晃一氏の協力のもと、今後の長瀨町におけるICTの整備計画を策定しました。整備計画の基本方針として、1点目は「教育ICT機器の整備として、タブレット端末の早期導

入」。2点目は「校務事務の効率化として、校務支援システムの導入」。3点目は「情報セキュリティの見直しと徹底、教職員の研修等」です。

Q教育におけるICTの必要性は。

Aコンピュータを使った「プログラミング教育」が2020年度から必修となり、コンピュータを中心にICTの整備は、法的に必要となっています。



野原 隆男 (のほら たかお) 議員
**岩畳周辺及び散策路の
 維持管理について**

〔産業観光課長〕
**関係機関に働きかけ、
 方法を模索**

Q岩畳周辺や散策路では、春から秋にかけて草木の繁茂期には景観が損なわれたり、歩行が困難になる場所がある。以前は台風等により荒川が増水し、岩畳周辺や散策路が水に浸かり周辺に草木が茂ることがなかった気がしている。現状のまま草木が繁茂し続けると、観光客の受け入れにも影響が生じる可能性がある。岩畳周辺と散策路の維持管理について伺う。

A岩畳周辺及び散策路は河川や民有地の部分もあるため、直接的な維持管理はしていません。

また岩畳周辺は規制が厳しい区域であり、対応が難しいため関係機関に働きかけ、対処する方法を模索していきたいと思えます。



散策路に繁茂する草木



新井 利朗 (あらい としろう) 議員
近隣プールの利用と
料金格差解消について

〔町長〕
他町のプール利用は
考えていない

Q プール運動は全身を使う有酸素運動で、水泳だけでなく筋力保持や健康維持のために利用が盛んである。皆野町はプールで健康増進や介護予防を行っているが、プールがない当町町民も参加できるよう調整できないか。また、皆野町民と同額で利用できる補助事業導入は可能か伺う。

A 皆野町では「ふれあいプール・ホット」を利用した介護予防教室を行っています。このプールは高齢者向けに設計されておらず、危険防止のため細心の注意を

払いながら実施しており、参加を抑制している状況ですので、町外者の参加は困難なようです。

皆野町民と同額で利用できる補助事業については、ほかの施設とのバランスを考えますと導入できません。

なお当町では、「元気もりもり体操」「水腰らくらく教室」「歌の教室」など介護予防、普及啓発に努めています。



健康な体づくりは水泳や水中ウォーキングから

大島 瑠美子 (おおしま るみこ) 議員
(仮称)本野上地区公園の
見直しについて

〔健康福祉課長〕
不足時には未舗装
部分を駐車場に

Q 多世代ふれ愛ベース長瀬の利用は、事業によりさまざままでここでいう事業には車で参加する利用者が多く、今後も駐車場を確保することが重要と考える。

乳幼児や児童が外で遊ぶのを見かけることが少なくなっているの、緑のある広い公園より、施設利用者のための駐車場を確保の方が有用だと思われる。

そこで、(仮称)本野上地区公園を駐車場に見直す考えはあるか。

A 今年度、設計及び工事を実施する公園は、多世代ふ

れ愛ベース長瀬の南側、約2,182平方メートルのうち、約900平方メートルを使用し整備します。

進捗状況は、設計業務委託の入札を8月27日に行い、11月中旬には設計が完了し、その後に工事を実施する予定となっています。

公園整備後の残りの敷地部分については、駐車場として活用しますので、今年度整備する公園を駐車場に見直す考えはありません。

〔その他の質問〕 不納欠損処分/消防団の定数確保と団員の報酬アップ
(仮称)長瀬地区公園の開園後の駐車場利用/水難事故防止

傍聴者の声 私の議会傍聴のきっかけは、知人の議員から傍聴の誘いがあったことでした。最初は一般質問の中で関心のある質問の傍聴でしたが、今は時間の許す限り傍聴しています。「議会だより」を熟読して、自分の記憶や感じ方を再確認しています。ぜひ皆さんも自分の町の動きを直接見て、肌で感じてみませんか。傍聴席でお会いしましょう。(傍聴人N.K)

次回定例会は
12月6日(木) 9時 開会予定です。
ぜひ傍聴にお越しください。

編集後記

元気でお過ごしでしょうか。今年の夏は尋常ではない猛暑でした。また、台風が例年より多く発生しています。災害により被害が発生しなければいいのですが。

議会だより7号が発行されました。印刷された文章は簡単に修正することができません。議会中と同様に緊張感を持ち、真摯に取り組んでいます。決算認定については、将来世代の視点を見越した結論です。 大島瑠美子

長瀬町議会だより No.7
平成30年9月定例会/11月1日発行
発行：埼玉県長瀬町議会
編集：長瀬町議会だより編集委員会

〔議会だより編集委員会〕
委員長：染野 光谷
副委員長：岩田 務
田村 勉

議会の詳しい情報は
町議会ホームページ
をごらんください



🔍 長瀬町議会 検索